



ふれあい 放水路

1996
(平成8年)
第24号
3月



ホタル川が完成

出雲市上塩治町の塩治神社のある山崎山公園にホタル川が完成し、三月三日、菅沢ぼたる保存会と菅沢治水対策協議会の共催による竣工式が行われました。

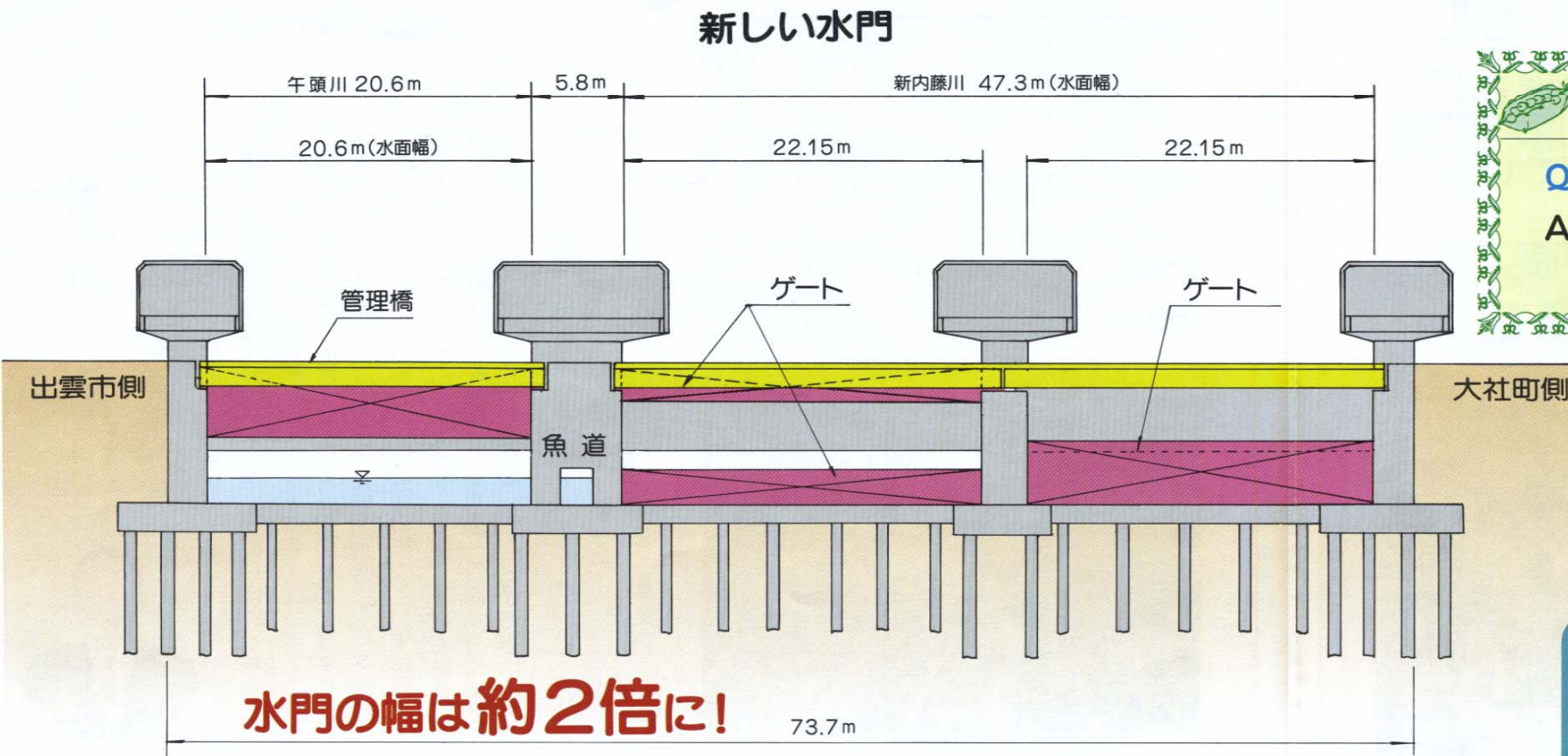
斐伊川放水路事業では大量の土砂が発生するため、その処分場としてグリーンステップ事業を計画しました。しかし、そこにはホタルが棲息する大井谷川や大源氏川があります。そこで、地元の方々と協議を重ねて、山崎山周辺に約一六五メートルの代替のホタル川をつくりました。

式では、神事が行われた後、テープカットと共にホタル川の水門が開かれ、川に水が流れ始めました。そこへハツピを着た地元の子供達がホタルの餌となるカワニナを放流し、新しいホタルの里づくりがスタートしました。

今年の秋にはホタルの幼虫が放流される予定です。

新内藤川上流より水門を見ると

新内藤川水門改築工事の概要



けんせつ豆知識

Q. 魚道とは何ですか?

A. 堰やダムなどに設けた魚のための通路です。



今月は、今年度着工の3つの主な工事(古志橋・崎屋橋・新内藤川水門)の最後の1つである新内藤川水門について紹介します。

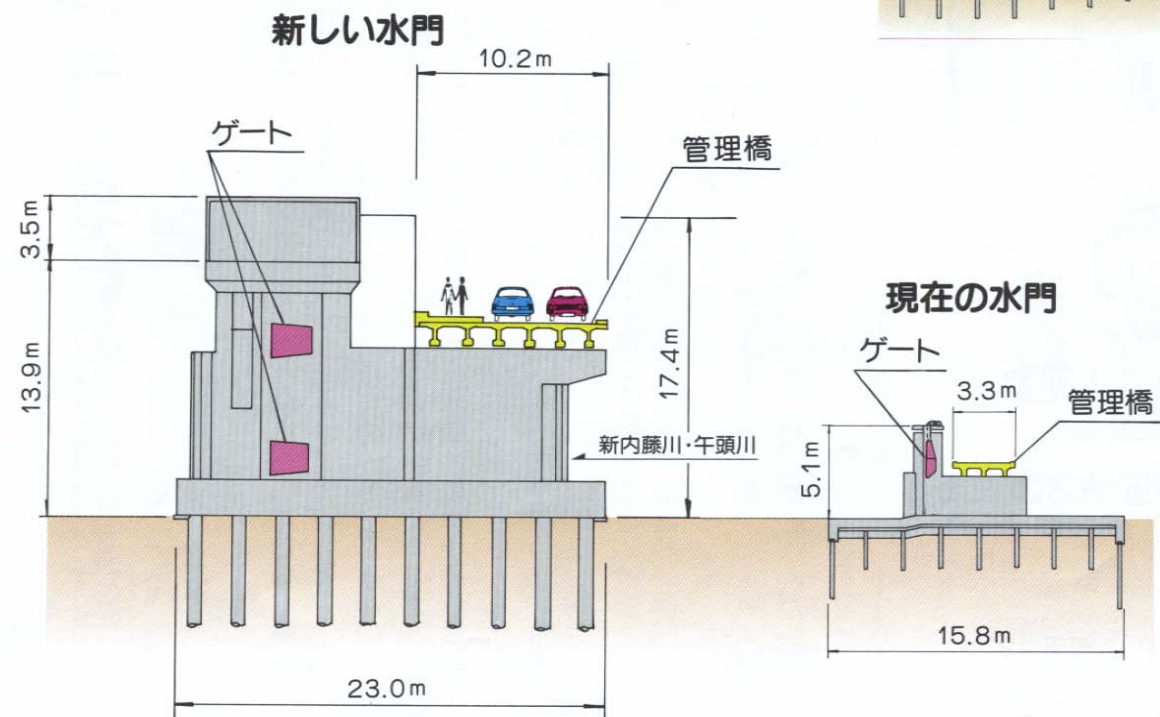
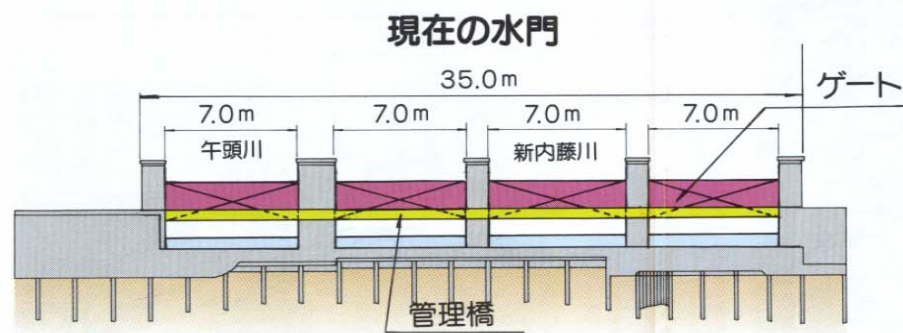
新内藤川水門は、放水路の拡幅工事に伴って撤去される現在の水門の代替として設置されるもので、洪水時に神戸川から新内藤川・午頭川への逆流を防止し、氾濫を防ぐことを目的としています。

この改築により、新内藤川水門は現在の水門に比べ幅が約2倍になり、管理橋(一文橋)の幅も広くなり、車両の通行もスムーズになります。

完成は平成11年度末を予定しています。

水門を横から見ると

水門の高さはなんと約3.4倍に!



■ 工事箇所



会長 奥井 孝

菅沢ぼたる保存会



山崎山ホテル川
ができて



塩治地区菅沢の大井谷川や大源氏川には古くから多くのホタルが棲息して地域の人々に親しまれてきました。このホタルを二十一世紀に生きる子孫のために残そうと菅沢ぼたる保存会によって保護活動を展開してきました。これからは新しい川をホタル増殖の拠点として棲息できる環境をつくり、ホタルが定着するまで活動を続け、将来、斐伊川放水路完成の暁には周辺一帯にホタルの幼虫を放流して、再び「ホタルの里」をよみがえらせたいと思っています。

ふれあい
放水路
通信

日本最大級の水鳥の楽園
斐伊川水系



出雲工事事務所では、自然豊かな川づくりを進めていくため、平成二年度から「河川水辺の国勢調査」を行っています。その一環として、昨年度に引き続き、二月十一日、県立三瓶自然館の佐藤仁志さんの指導のもと、日本野鳥の会島根県支部・鳥取県支部の会員のみなさんの協力により、斐伊川水系に生息する鳥類全ての種類、数、出現位置の調査を行いました。

今回は、県鳥でありながら、ほとんど見ることができなかったオオハクチョウが斐伊川中流域で十羽確認されたり、絶滅危急種に指定されているカムムリカイツブリが穴道湖で七百五十羽確認されました。また、天然記念物であるヒシクイが斐伊川中流域で確認され、西日本唯一の集団渡来地として注目されます。

調査の結果、七十九種、約九万七千羽が確認され、斐伊川水系（斐伊川から境水道まで）が全国最大級の水鳥の渡来地であることが実証されました。



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩治有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当